

富山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会概要
(第18回子ども・子育て会議)

1 開 会 (15時から)

(定員数：委員の過半数が出席すること。浅岡委員、石動委員、舘川委員、富田委員、西館委員、藤井委員、八木委員各委員欠席)

2 こども家庭部長挨拶

3 議 事

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画(素案)について

- ・第2期子ども・子育て支援事業計画(素案)について、資料2に基づき内容を説明
- ・事務局の方針どおり進めることで決定

【主な意見等】

委 員 保育現場では保育士不足がやはり問題である。市としてこの問題をどのように考えているのか。

事 務 局 国の制度に合わせて処遇改善をしっかりと実施していく。また質の向上を図るための研修の実施や、保育現場と保育士を養成する教育機関、学生との懇談会なども実施した。様々な施策を実施し、現場に負担がかからないようにしていきたい。

委 員 幼児教育・保育の無償化について、保育現場としてはどうか。

委 員 保育現場に携わる立場としてお答えすると、特に大きな混乱や影響はないように感じている。

(2) 幼保連携型認定こども園等の認可申請及び利用定員について

- ・令和2年度認定こども園認可申請施設等について、資料3に基づき内容を説明
- ・事務局の方針どおり進めることで決定

【主な意見等】

委 員 富山市は認定こども園への移行が早く、他都市と比較して先進的である。

(3) 子ども・子育て支援事業の実施状況等について

- ・「富山市子ども・子育て支援事業計画」に定める子ども・子育て支援事業の実施状況等について、資料4に基づき内容を説明

【主な意見等】

- 委員 総合型スポーツクラブやスポーツ少年団の育成事業で進捗が低くなっている。児童の数が減ってきている中で、基準や目標の設定の仕方も考えていかななくてはならない。
- 委員 保育士等の資質と専門性向上のための研修事業において、研修の回数も大事だが、内容を絞り、例えば課題等も与えながら3回継続の研修を実施するなど、しっかりと質の向上を図れる研修の在り方を検討してもらいたい。
- 事務局 今後も研修の実施にあたっては、県や幼児教育センターなどと連携を図りながら実施していきたい。また、公開保育などについても、保育士の質の向上につながるため実施していきたいと考えている。

(4) 市有地を活用した保育所施設整備事業について

- ・市有地を活用した保育所施設整備事業について、資料5に基づき内容を説明
- ・事務局の方針どおり進めることで決定

【主な意見等】

- 委員 どれくらいの規模の施設にするのか。
- 事務局 詳細の条件についてはこれから詰めていくが、一定以上の施設となるよう条件を設定し、応募事業者からの提案を審査して決定する。
- 委員 保育の需要はあるのか。
- 事務局 需要に対し教育・保育の確保ができておらず、緊急に整備していかなくてはいい区域である。
- 委員 素晴らしい試みだと思っている。報道もされたことから、検討している事業者がすでに複数いるという話もある。しかし、公立保育所民営化事業と比較して、施設を建設しなくてはいけないため、資本に余裕がある法人でない応募できないのではないかと考えている。